

新しい町立歯科診療所が完成 ～4月から診療を開始します～

昨年8月より工事が進められていた「町立歯科診療所」が2月末に完成し、4月1日から診療を開始することになりました。

いままでの歯科診療所は、昭和49年に建設されたもので、築後36年を経過し老朽化が進んでいたため、総工費6千3百万円余り（設計・土地・備品を含む）をかけて、町立幾寅診療所の隣接地に新築されたものです。



新しい歯科診療所は延べ217㎡で、幾寅診療所の隣に建設され、医療機関が集約されることでより利便性が高まるとともに、施設内の待合室にはキッズコーナーも設置するなど、子どもたちにも親しまれる施設に配慮するとともに、新たにX線装置や診療台についても整備し、先端診療が可能になりました。

今後とも、本町唯一の歯科診療所として地域医療に寄与し、住民の健康増進の一助となることが期待されます。

新しい歯科診療所への移転準備のため、現歯科診療所は3月29日から31日までの間休診します（急患については対応します）。

本町のジュニアカーリングチーム 「南富良野CA」全道ジュニア選手権大会出場へ

本町のジュニアカーリングチーム「南富良野CA」が、3月19日から北見市で開催される第18回北海道ジュニアカーリング選手権大会（21歳以下）への出場を決めました。

南富良野CAのメンバーは、南富良野中2年笠原颯くん（落合）、南富良野中1年佐々木樹くん（北落合）、幾寅小6年目黒良太くん（幾寅）、富良野高3年佐藤和輝くん（落合）の4名で、町内在住の児童生徒で編成されたチーム。

2月6日に妹背牛町で行われた予選会（道央ブロックジュニアカーリング選手権大会）には、南富良野CAのほか、札幌の大学生チームが3チーム出場。4チームによるトーナメント戦で全道大会の出場枠（3チーム）が争われ、南富良野CAは、大学生チーム相



全道大会へ向けて練習に励む(右から)笠原くん、佐々木くん、目黒くん

手に2連勝し、全道大会への出場権を獲得しました。

チーム最年少の目黒くんは、「年上のチームとの対戦で、気持ちは押されていたけど、頑張れました」と全道大会の出場を決めてほっとした様子。笠原くんは、「南富のジュニア大会で負けた相手に、勝つことが出来て自信になりました」と笑顔で話していました。

全道大会には、ブロック予選を勝ち抜いた12チームが出場します。南富良野CAでは、本番と同様に年上のチームとの対戦を想定し、大学生チームとの練習試合を組むなど、五嶋富恭コーチ（落合）の指導により、週3日から4日の練習を行っています。カーリング歴7年の佐々木くんは、「高校生や大学生が相手になるので、少しでも勝てるように頑張りたい」と決意を新たにしていました。

五嶋富恭コーチは、「初めての大きな大会なので、精一杯頑張ってほしい。来年に向けて良い経験を積んでくれれば」と将来性のある選手たちの活躍を楽しみにしていました。

同予選会の女子の部には、南富良野高校もエントリーしましたが、全道大会の出場枠（2チーム）と同じチーム数となったため、予選を行わず、全道大会への出場が決まりました。